

子どもたちのことを一番に考えた学校のあり方を検討します!!

坂井輪中学校区内小学校適正配置 地域検討協議会たより

第2回地域検討協議会(5月13日)の概要報告

1 開会 (原委員長あいさつ)

新通小学校が、大変過密な状態になり、今、1,000人を超えています。今後もあと少し増えて1,100人を超えるということもありまして、教室も足りないし、体育館もいっぱいという状態で、なんとか早くこの状態を改善して適正な規模の学校にしてやりたい。そのための方策を私たち住民の方から一生懸命アイデアを出したり、考えたりして作り上げていこうというのがこの協議会の目的です。将来的に、10年後、20年後、子どもたちに「いい学校に生まれてよかったなあ」という結果が出せるように、ぜひ皆さんの知恵をお貸しいただきたいと考えています。

2 地域検討協議会の今後の進め方について

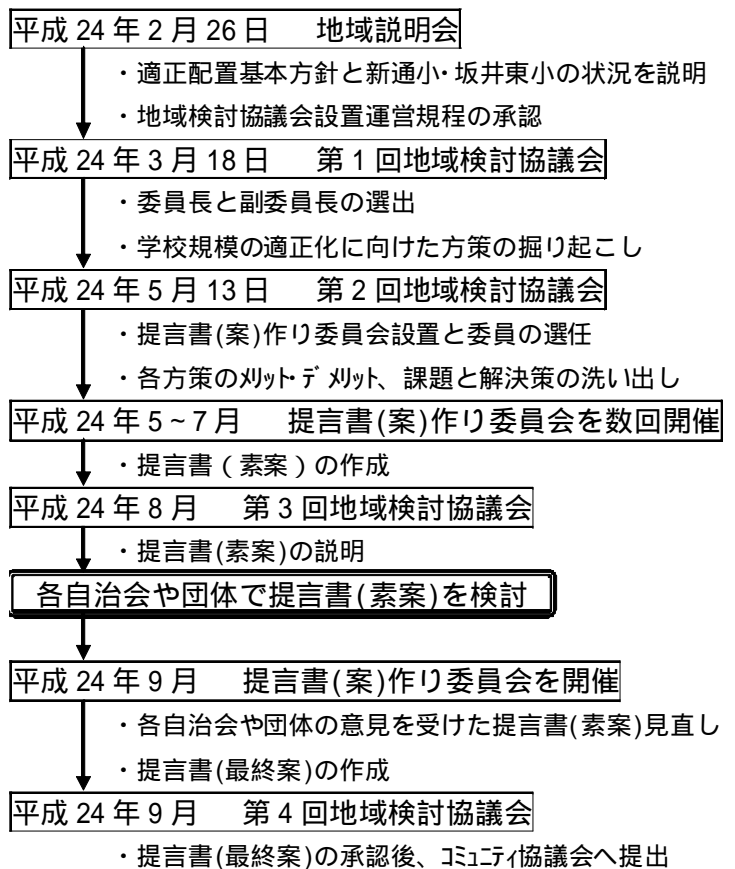
地域検討協議会としての提言書をまとめるため、少人数で検討を行う「提言書(案)作り委員会」を設置することが承認されました。

今後は、これまでの地域検討協議会で出された意見をもとに、「提言書(案)作り委員会」で提言書の素案を作成し、第3回地域検討協議会で説明した後、住民の皆様にもお示ししていきたいと思っております。

地域検討協議会のおおまかな進め方は右記のとおりです。

今後の見通しを示したもので、話し合いの方向により、内容や時期、期間などが変更となる場合があります。

地域検討協議会の流れ



3 グループ討議

検討委員が、「分離新設・移転改築」「通学区域変更」「フリー学区」「その他の方策」という学校規模の適正化に向けた方策毎に分かれ、グループ討議を行いました。

グループ討議では、それぞれの方策のメリット(利点や実施することで期待される効果)、デメリット(欠点や実施することで生じる問題)を話し合い、また、地域検討協議会として責任ある提言書をまとめるために、実現性の検証や、それぞれの団体に協議すべき事項を明らかにしておくことが大切であると考え、実施するために解決しなければならない課題とその解決策についても検討しました。



60名の検討委員が参加し、7グループに分かれて話し合いました



自分の意見を付箋に記入して貼り付け、互いの意見を説明しました

このグループ討議で出された意見は、提言書(案)作り委員会で集約し、提言書(素案)作成に反映します。

また、各グループから、前述の「提言書(案)作り委員会」に参加する委員を選出しました。

委員会の構成メンバーは次のとおりです。

原明彦(検討協議会委員長、コミュニティ協議会会長)、目黒浩輔(検討協議会副委員長、新通小学校PTA会長)、原明子(検討協議会副委員長、坂井東小学校PTA会長)、高橋義久、大竹進(以上ウイズプラザ新通自治会)、伊田修一(輪之内自治会)、入山千鶴子、北島裕美子(以上新通団地自治会)、岡田秀幸(寺尾上4東自治会)、佐々木芳明(新通小学校PTA)、武内裕子(検討協議会事務局、コミュニティ協議会事務局長)、新潟市教育委員会(オブザーバー参加)

4 開会(原副委員長あいさつ)

各グループ活発にご意見が出たということで、ありがたいと思っております。

今後、提言書(案)作り委員会の方々が、本日皆さんから出された意見を基に、一生懸命素案を作っています。提言書(素案)に示される内容は、皆さんのこれまでのご発言が反映されたものであることを、心に留めておいていただければと思います。

また、今日、子どもたちのために時間を割いていただいたことを保護者の一人として感謝申し上げます。

提言書(案)作り委員会の会議は、傍聴していただくことができます。

不定期開催のため、開催日時や会場については、下記にお問い合わせ下さい。

また、新潟市のホームページでもお知らせしています。

問い合わせ先：新潟市教育委員会 教育総務課企画室(坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会事務局)

TEL 025-226-3178 FAX 025-230-0401